こどもまんなか

（仮称）泉保育園の整備・運営に関するサウンディング型市場調査実施結果の概要について

令和８年３月 26 日
いわき市保育・幼稚園課

１　実施目的

本市では「個別施設計画【幼稚園・保育所】（令和６年５月策定）」に基づき、滝尻・玉露保育所を再編・統合し、保育所または認定こども園（以下「（仮称）泉保育園」という。）を新設することを検討しています。

（仮称）泉保育園は、民設民営を含めた民営化を基本として検討を進めていることから、民間事業者から、整備・運営を効果的に進めるためのアイデアのほか、市場性や条件等に関する意見を広く募り、民間事業者の参画可能性等を把握するためにサウンディング型市場調査を実施しました。

参加事業者から活用アイデアの提案や意見がありましたので、実施結果の概要をお知らせします。

２　サウンディングの実施スケジュール

令和７年 12 月２日	サウンディング調査実施要領の公表
令和８年１月９日	現地見学会の開催
令和８年２月２日～２月４日	個別対話の実施
令和８年３月 26 日	サウンディング調査結果概要の公表

３　実施結果（概要）

⑴　参加事業者

現地見学会	12 者
個別対話	６者

⑵　個別対話の内容

対話項目	対話概要
１　保育園の整備・運営に関する提案	施設コンセプト及び運営方針 • 幼保連携型認定こども園、保育所型認定こども園、保育所 • 保育園×高齢者デイサービス×カフェ」の複合福祉拠点 • 泉地区の子育ての拠点施設 最適と考えられる園児の定員数 • 施設定員は 90 名～120 名程度。

	職員確保策 • 市の会計年度職員の方に、引き続き当法人の職員として勤務していただきたいと考えている。 • 法人内異動や求人募集にて職員を確保していきたい。 地域の子育て支援事業等 • 来園や電話等などで実施する子育て相談事業、入園前のこどもたちとその親を集めての交流会を通じての園開放事業、延長保育事業、こども誰でも通園制度(乳児等通園支援事業)事業、保護者の急な用事や育児の悩み等で一時的に預かる一時預かり制度、児童発達支援事業を開設したいと考えている。 • 園がお休みの週末には、時間を設定しスタッフ在中の上で、園舎自体を地域の子育て世帯に解放することを検討。 整備予定地の取扱い • 土地は無償貸与が望ましい。 障がいのある児童の受け入れ • 障害のあるこどもたちを積極的に受け入れることが期待されており、また児童発達支援事業を設置することによりこども園と児童発達支援事業の設備や職員の兼務が可能となり、一体的な教育・保育・療育の提供ができる統合保育を進めることができる。 • インクルーシブ保育を進める予定である。 • 事業者選定において継続的な障がい児保育・統合保育実績を加える必要があると考えている。加えて、保護者の切実な声を誰よりも聞いていると思われる各地区センターの窓口担当職員さん、子育てコンシェルジュ職員さんを判定する一員に加えていただくことも良いと思います。
2　施設整備に関する提案	敷地活用、施設イメージ • 基本園庭を囲む平屋を考え、耐用年数の観点からも鉄骨造を基本としたい。 • 現在園庭にある樹木を活かし、森のような保育園にしたいと考えている。 • 園舎は、バリアフリーで中心に遊戯室（ホール）でその周りに自由遊びが十分にできる保育室を隣接させる。 • 園舎の規模としては、延床面積 900～1,000 ㎡の２階建てで、遊戯

	室を建設するため、構造は鉄骨造を想定している。 • 浸水区域に設定され最大３メートルと聞き及んでいるので、垂直避難ができるように２階建てが望ましい。 想定している整備スケジュール • 職員の研修等の期間が多少心配である。 • 敷地の設計与件を踏まえ、各関係窓口との調整期間を考慮すると、令和８年度の極めて早期に事業者決定が求められる。 • 建設工期は十分な余裕が必要かと思われる。
３　本事業への参画に関する提案	現時点での参画意向 • 参画を希望する。 リスク、懸念事項など • 令和 11 年度開所に向けては建築コストの増加が懸念材料と認識。 • 土地の無償貸付や運営の引き継ぎ等、細やかな行政支援をお願いしたい。
４　その他	• 泉小学校等との連携は勿論のこと、地域との連携も強化することが重要である。 • 障がい児保育は、複数年かつ複数人の障がい児保育の実績を事業参画要件にすることが必要と考えます。 • 多様性、公平性、包摂性を保障するコンセプトが重要と考えます。

４　実施結果を踏まえた今後の対応

今回のサウンディング型市場調査において、民間事業者から得られた提案や意見を踏まえながら、令和８年度内の事業化の方針決定に向けて検討を進めていきます。